経済統計 練習問題

第 30 回 国民経済計算 (3)

2016年1月25日

問 1 下の表は、2013年と 2014年の日本の国内総生産 (GDP) に関するものである。この表について、あとの問に答えよ。(割りきれない場合は四捨五入し、小数点以下第 1 位まで求めること。)

	2013 年	2014 年
GDP(名目) (兆円)	479	487
GDP デフレーター (平成 17 年=100)	91.0	92.6

1. 2013 年と 2014 年の実質 GDP を求めよ。

2. 2013 年から 2014 年にかけての実質成長率を求めよ。

問 2 3 つの産業からなる国の経済の産業連関表が下の表のように示されており、表の中の $A \sim J$ の数値は不明である。このとき、C に入る数値として最も適当なものはどれか。

		中間需要			最終需要	産出合計
		産業 1	産業 2	産業 3	取於而女	连山口前
中間投入	産業1	25	A	В	С	80
	産業 2	D	Е	20	35	90
	産業3	15	20	F	40	G
粗付加価値		30	30	35		
投入合計		Н	I	J		

- 1. 15
- 2. 20
- 3. 25
- 4. 30
- 5. 35